

電気と私

田谷

駿丞

私達の暮らしの中で電気はとても欠かせない物になつていきます。停電になると困ることについて考えました。直接困ることは、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、TV、エレクトロニクス、照明、IHコンロ、エレベータ、電車などがありません。間接的に困ることは、水道のポンプの停止、光電話、スマートフォン、充電などがありません。

被災地で困っているニコスをよく目にします。街に明かりが灯ると安心するとの声が上がっています。街に明かりが灯らないと、夜は真暗で気持ちも暗くなります。街灯のありかたみや防犯の事も考え、もしも公共物で充電ができたりと考えました。

公園に設置してあるソーラーブランコなどの振り子の運動や滑り台などの摩擦熱を利用して子供達が遊んでいる間に、発電が出来る

たり良いかと思いましたが。子供達も遊ぶこと
 で社会の役に立てて、大人も子供もその発電
 したものを使って明るい夜が住みせると思っ
 ます。遊びながら手軽に発電が出来る物とし
 て、縄跳びや、ボール、電動自転車などにし
 SBポットを取り付けると身近で使える物に
 なると思います。欠点はモーターなどで重たく
 なることです。なのでモーターなどの縮小化を
 すると思います。家の中でのいこも
 て運動不足になることも防ぐことが出来るし
 電気も発電することができるので、一石二鳥
 だと思えます。

毎日、気にせず電気を使って暮らせること
 に感謝します。いつか、災害時に役立つ製品
 の開発や製造に携わる仕事をしたいです。